

ウォーターP P Pの進捗について

上下水道局 下水道部

令和7年度の進捗状況



企業向け説明会の様子

マーケットサウンディング調査の実施

- ・ 企業向け説明会 3月18日 55社参加
- ・ アンケート調査 3月18日～31日 46社回答
- ・ 個別ヒアリング 4月16日～5月22日 22社参加

民間事業者の参入における懸念や希望事項を把握

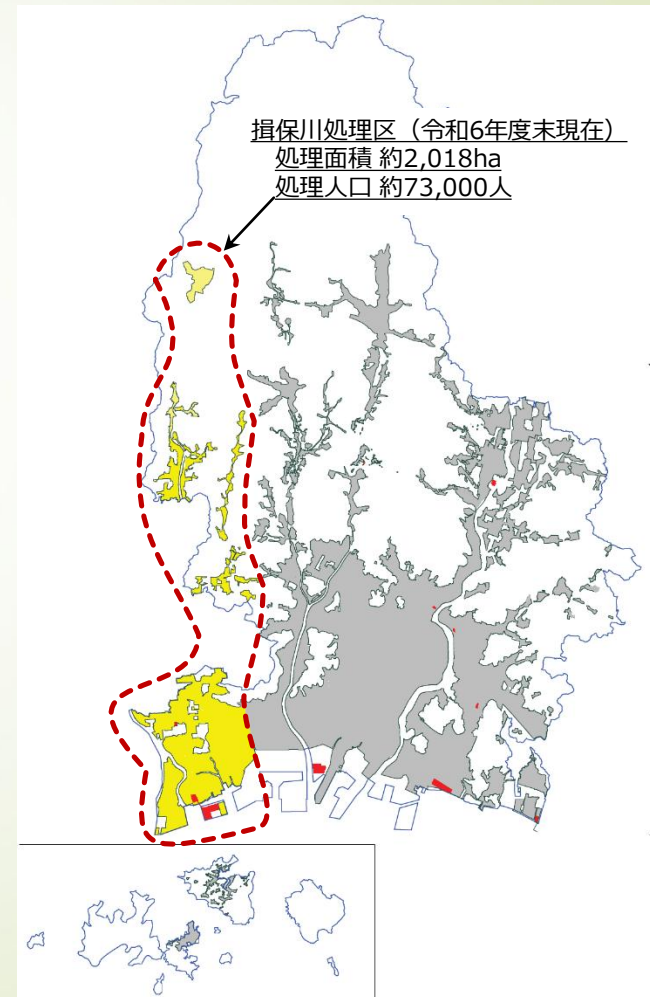


(調査・検討結果を踏まえ)

事業対象処理区に「揖保川処理区」を選定



官民連携手法、事業範囲・事業内容など
事業スキーム（案）を検討



揖保川処理区位置図

事業スキーム(案)

(太字：現在実施中のものから追加・拡充する業務)

事業手法	管理・更新一体マネジメント方式（委託契約） （ウォーターPPP レベル3.5）
事業期間	令和9年12月1日から令和19年11月30日（10年間）
対象処理区	揖保川処理区（流域関連公共下水道）
対象施設・業務	<p>対象全施設共通 （統括管理業務）</p> <p>下水道管渠施設 L=約510km （維持管理業務・設計業務（更新計画案作成含む）・改築業務）</p> <p>マンホールポンプ N=36箇所 （維持管理業務・設計業務（更新計画案作成含む）・改築業務）</p> <p>雨水ポンプ場 N=4箇所 （維持管理業務・設計業務（更新計画案作成））</p> <p>計画事業用地 （維持管理業務）</p>
事業費	約30億円/10年（※約42億円/10年：10年間の物価上昇を考慮）

※物価上昇は、国土交通省公表の指標により見込んでいる。

- 導入可能性調査では揖保川処理区内の全ての施設及び業務を念頭に範囲を検討。（市管理施設のみ。終末処理場である揖保川浄化センターは県管理。）
- 本市は皮革産業が盛んである。皮革排水は石灰、獣毛、クロム等を含み一般工業排水に比べて汚濁の程度が高い。pHも一日の中で激しく変動する等、民間事業者による包括的な管理が非常に困難である。
- サウンディング調査において、多くの民間事業者が皮革関連排水施設の管理リスクを懸念。このため、対象施設は皮革関連排水施設は除く。

年あたり事業費 [現在との比較]

(単位：百万円/年)

事業手法	① (現在) 管路包括	② (現在) ①以外の 業務委託	③ (現在) (①+②)	④ (今後) WPPP レベル3.5	⑤ 差額 (④-③)	備考
管渠・施設 総計	190	-	268	300	+32	
① 管渠関係 小計	190	-	197	229	+32	
ア 維持管理業務	91	-	91	120	+29	統括管理工、 スクリーニング調査工等の追加
イ 設計業務	6	7	13	13	±0	
ウ 改築業務	93	-	93	96	+3	改築延長の増
② 施設関係 小計	-	71	71	71	±0	
ア 維持管理業務	-	61	61	61	±0	個別発注からWPPPへ移行
イ 設計業務	-	4	4	4	±0	個別発注からWPPPへ移行
ウ 改築業務	-	6	6	6	±0	個別発注からWPPPへ移行

※年あたり事業費比較については、物価上昇を見込んでいない。

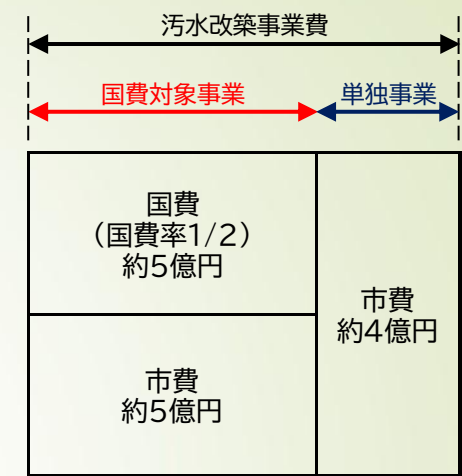
事業効果(想定)

① 污水管改築に係る国の支援継続
(市全体で約5億円/年)

② 地元業者の活用・地域経済の活性化
・ 地元業者を構成企業
又は協力企業として積極的に活用

③ その他の効果

- 複数業務の複数年一体発注
 - ・ 発注事務に係る職員負担軽減
 - ・ 効率的、効果的な維持管理及び改築更新
 - 緊急時の迅速な対応による市民サービスの向上
 - ・ 苦情から概ね1時間程度で現地到着し対応
 - 包括的な予防保全の実施
 - ・ 重大な異状の発見後、即座に設計・改築が可能
- 維持管理・調査 ⇒ 設計 ⇒ 改築工事 のスピードアップ (3年⇒1年以内)



污水管改築財源の内訳 (試算値)

今後のスケジュール

- ・令和6～7年度 導入可能性（マーケットサウンディング含）調査 【実施済】
- ・令和7～8年度 発注準備業務
- ・令和8年度 実施方針（案）及び要求水準書（案）の公表 【春～夏頃】
入札公告 【冬～春頃】
- ・令和9年度 事業開始 【12月】

